

## 《資料》

## 中小企業をイメージする (2015年)

——2015年度における大学生を対象とした調査から——

関 智 宏

- I はじめに
- II 調査概要
- III 分析方法
- IV 分析および分析結果
- V 小結

## I はじめに

本稿は、中小企業のイメージをめぐる、筆者のこれまでの一連の調査分析の延長上に位置する(拙稿, 2017:2018), 2015年度のデータに基づくものである。これまで発表してきたものと基本的な構成は大きくは変わっていないが、使用するデータはこれまでと異なる新規のものである。

中小企業とは何かという問題をめぐる議論は、中小企業研究の本質論とも言われる(瀧澤, 1995; 山中, 1948)。中小企業は「異質多元的」ゆえに多様なイメージを有するが(山中, 1948), 中小企業がいかなるイメージをもたれているかについては、これまでいくつかの研究で取り組まれてきたにもかかわらず(中小企業白書, 1972:1992; 後藤, 2015; 松井, 2014; 寺岡, 2005), 必ずしも厳密に分析されてきたとは言えない(関, 2017)。

本稿では、拙稿(2017:2018)での検討を踏まえ、引き続き、中小企業について学ぼうとする大学生を対象に、筆者が独自に調査することで獲得したデータに基づき、こんにちにおける日本の中小企業に対して、どのようなイメージを抱いているのかを明らかにするとともに、それらのイメージのそれぞれの関連性について若干の考察を行う。

大学生は、日本国民全体からすれば、その数はわずかにすぎない。したがって、大学生が抱く中小企業のイメージだけをもってして、日本国民が抱く中小企業のイメージを示すことにはならない。また、大学生はたしかに企業における近い将来の有力な人材であるに違いないが、社会に巣立つ前ということもあり、社会人と異なり、大学生がどの程度中小企業の存立実態(それ以前に企業の実態)を正しく認識しているのかについては疑問が残る。大学生を対象とした中小企業に対するイメージをとりあげるさいには、これらのような懸念がある。

しかしながら、大学生が中小企業の存立実態を正しく認識していないにもかかわらず、中小企業に対して何らかのイメージを有しているのであれば、イメージを有していること自体が重要な

のである。この大学生が抱くイメージにかかるデータおよびその分析が、中小企業研究上の資料的価値をもつことには疑いの余地はなからう。

本稿の構成は以下のとおりである。第Ⅱ節では、筆者が独自に実施した調査について説明する。第Ⅲ節では、KH Coder を使った分析方法について説明し、第Ⅳ節では、その分析と結果を示す。第Ⅴ節は、小結として、分析結果から得られる示唆を指摘するとともに、今後の検討課題を明示する。

## Ⅱ 調査概要

筆者は、2015年度に、筆者が「中小企業論」の講義を担当する A 大学と B 大学の2つの大学において、その科目を履修する大学生を対象に、中小企業のイメージにかかる調査を実施した。調査実施日は、A 大学は、2015年4月8日、B 大学は、2015年9月28日であった。調査は、具体的には、「中小企業と聞いて思いつくイメージ」を5つ以上あげ、指定の用紙に箇条書きで記述するよう依頼するかたちで実施された。2つの大学から得られた有効回答は349であった(A 大学:259, B 大学:90)。回答の結果一覧を示したものを、末尾の別表に記している。回答者の性別(男性には1を、女性には2を与えた)、所属する学部、学年(たとえば3の場合は3回生)も記載している(ただし本稿での分析は性別と大学別に限っている)。

## Ⅲ 分析方法

本稿では、分析ツールとして KH Coder を使い、回答データの分析を行った。これまで中小企業のイメージにかんする研究はイメージを列挙しているにとどまっており、このようなデータ処理ソフトを使った分析は、これまでなされていない(関, 2017:2018)。それゆえ、本稿でもちいるデータの分析によっては、回答データ間の関連なども含めたさまざまな分析が可能となる。これが先行研究とは根本的に異なる、極めて先駆的かつ特徴的な取組である。

KH Coder は、分割されうる語を1つ1つ抽出するために、明らかにそれらの複数の用語が関連づけられ、1つの複合語である場合でも抽出語一覧に反映されない場合がある。拙稿(2018)での分析を踏まえ、このたび複合語の抽出を踏まえた分析を行った。このたびの分析では、KH Coder により、複合語を抽出し、出現数が5以上の項目を強制抽出する語として、「大企業」、「中小企業」、「従業員」、「町工場」、「技術力」、「経営者」、「福利厚生」、「資本金」、「社員数」、「ブラック企業」、「下請会社」、「可能性」、「従業員数」、「大手企業」、「ベンチャー企業」、「特化」、「社員同士」、「専門的」、「ブランド力」、「製造業」、「地域密着」、「卸売業」、「海外進出」、「人以下」、「地域密着型」を指定した。また、送り仮名の点に関して、「下請け」を「下請」に修正した。これは一般的には送り仮名を入れて表記することもありうるが、中小企業研究では「下請」として統一されているためである。

表1 複合語一覧

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
大企業	254	資本金	14	ベンチャー企業	8	卸売業	5
中小企業	70	社員数	14	特化	8	海外進出	5
従業員	67	ブラック企業	12	社員同士	7	人以下	5
町工場	23	下請会社	10	専門的	7	地域密着型	5
技術力	19	可能性	10	ブランド力	6		
経営者	19	従業員数	10	製造業	6		
福利厚生	18	大手企業	9	地域密着	6		

KH Coder による分析を行うにあたり、上の語句の取捨選択を踏まえ、データの事前処理をしたところ、総抽出語数（括弧内は使用された語数）は10,483（5,825）であり、異なり語数（同）は1,297（1,063）であった。また集計単位は、「文」が2,143、「段落」が1,794、また分析対象となる「H5」が349であった。

頻出度数が多いものから150語をまとめたものが、表2である。「大企業」がもっとも多く出現回数は256、「少ない」が212、「多い」が159、「企業」が109、「会社」が97、「小さい」が89、「従業員」が84、「中小企業」が77、「給料」が66、「経営」が65、「下請」が63、と続いた。

以上の抽出されたデータを基本として、共起ネットワークおよび階層クラスタの各分析およびコーディングによる各種分析を行った。

表2 抽出語一覧

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
大企業	256	近い	20	活動	10	関わり	7
少ない	212	働く	20	新しい	10	業界	7
多い	159	技術力	19	有名	10	細かい	7
企業	109	経営者	19	悪い	9	思う	7
会社	97	不安定	19	活躍	9	自分	7
小さい	89	福利厚生	19	景気	9	社員同士	7
従業員	84	経済	17	行う	9	弱い	7
中小企業	77	若い	17	産業	9	充実	7
給料	66	就職	17	事業	9	商品	7
経営	65	成長	17	車	9	少数	7
下請	63	地方	17	収入	9	職場	7
比べる	57	良い	17	小規模	9	全国	7
規模	55	少人数	16	大手企業	9	地元	7
社員	51	東大阪	15	知名度	9	町	7
低い	51	資本金	14	潰れる	9	任せる	7
作る	50	社員数	14	特化	9	密着	7
日本	49	受ける	14	イメージ	8	儲かる	7
部品	47	ブラック企業	13	シェア	8	アットホーム	6
工場	46	影響	13	ネジ	8	ブランド力	6
支える	45	関係	13	ブラック	8	ホワイト	6
数	44	資金	13	ベンチャー企業	8	扱う	6
仕事	43	賃金	13	縁	8	意外と	6
人	39	下	12	個人	8	給与	6
地域	37	強い	12	国内	8	業務	6
技術	35	社会	12	残業	8	工業	6
安定	34	取引	12	子会社	8	左右	6
高い	32	深い	12	人材	8	資本	6
知る	27	世界	12	責任	8	自由	6
持つ	26	分野	12	占める	8	社内	6
社長	25	下請会社	11	専門的	8	出る	6
人数	25	家族	11	難しい	8	将来	6
存在	23	作業	11	聞く	8	職人	6
大きい	23	地域密着	11	利益	8	製造業	6
町工場	23	同士	11	力持ち	8	大阪	6
倒産	23	名前	11	労働	8	仲	6
大手	21	たくさん	10	コミュニケーション	7	田舎	6
安い	20	違う	10	ニッチ	7		
距離	20	可能性	10	下町	7		

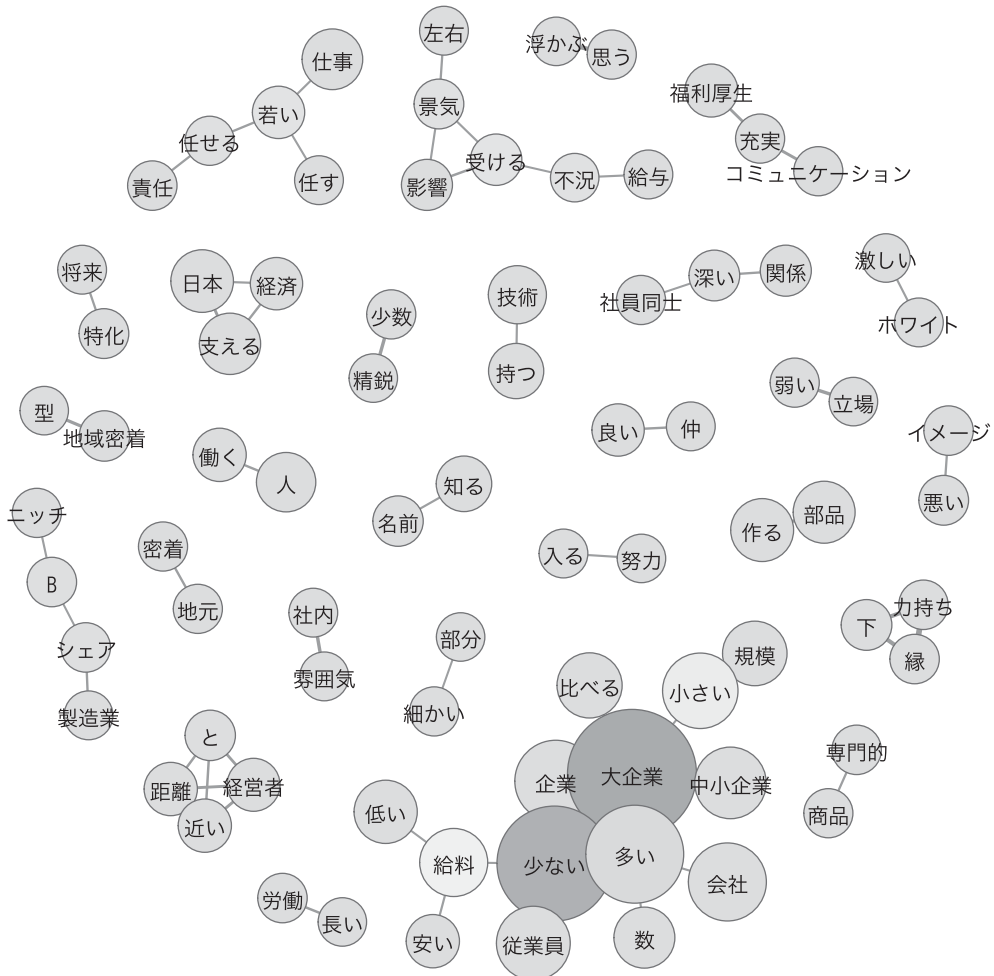
## IV 分析および分析結果

### 1. 共起ネットワークおよび階層的クラスター分析

#### ①共起ネットワーク

語の最小出現数を5に設定した。強い共起関係ほど太い線で、また出現数の多い語ほど大きい縁で描画するようにし、描画数を60にしたうえで結果を図示したものが、図1である。

図1 共起ネットワーク



「大企業」、「少ない」、「多い」、「給料」を中心とした共起関係がみられた。また、中心性とは共起関係は見られなかったが、独自の共起関係もみられた。

#### ②階層的クラスター分析

語の最小出現数を7に設定した。また方法は Ward 法であり、Jaccard の距離を1以上のもの

図2 階層別クラスター

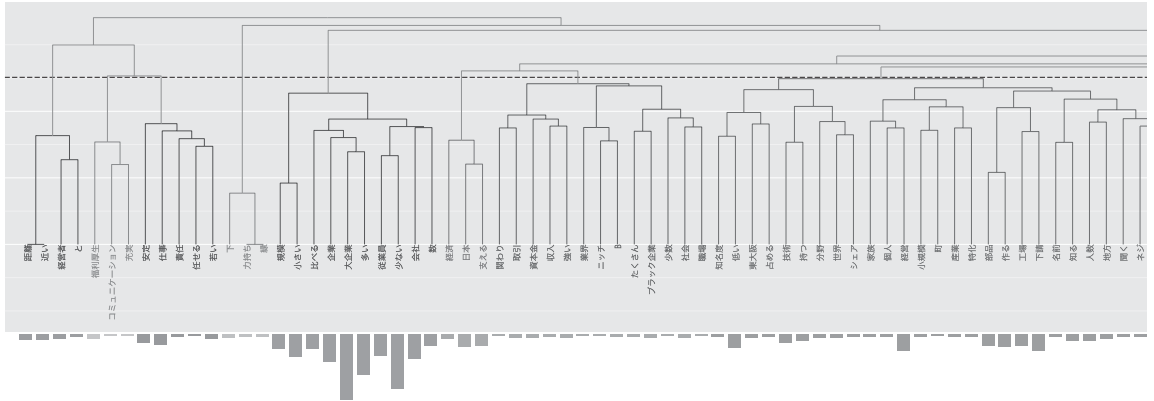


表3 クラスター別項目

①		②		③		④		⑤		⑥	
項目	度数	項目	度数	項目	度数	項目	度数	項目	度数	項目	度数
距離	20	福利厚生	19	仕事	43	下	12	大企業	256	日本	49
近い	20	充実	7	安定	34	力持ち	8	少ない	212	支える	45
経営者	19	コミュニケーション	7	若い	17	縁	8	多い	159	経済	17
				責任	8			企業	109		
				任せる	7			会社	97		
								小さい	89		
								従業員	84		
								比べる	57		
								規模	55		
								数	44		

⑦		⑧		⑨		⑩		⑪		⑫	
項目	度数	項目	度数	項目	度数	項目	度数	項目	度数	項目	度数
資本金	14	経営	65	下請会社	11	中小企業	77	受ける	14	給料	66
ブラック企業	13	下請	63	新しい	10	地域	37	影響	13	社員	51
強い	12	低い	51	車	9	社長	25	景気	9	人	39
取引	12	作る	50	事業	9	大きい	23	専門的	8	高い	32
社会	12	部品	47	人材	8	存在	23	利益	8	倒産	23
たくさん	10	工場	46	難しい	8	大手	21	働く	7	働く	20
収入	9	技術	35	ベンチャー企業	8	不安定	19			安い	20
関わり	7	知る	27	地元	7	就職	17			技術力	19
少数	7	持つ	26	密着	7	成長	17			良い	17
業界	7	人数	25	思う	7	少人数	16			賃金	13
職場	7	町工場	23	細かい	7	社員数	14			可能性	10
ニッチ	7	地方	17	下町	7	資金	13			悪い	9
		東大阪	15			関係	13			イメージ	8
		世界	12			深い	12			労働	8
		分野	12			地域密着	11			残業	8
		名前	11			同士	11			儲かる	7
		家族	11			作業	11				
		知名度	9			活動	10				
		小規模	9			違う	10				
		産業	9			有名	10				
		特化	9			行う	9				
		シェア	8			大手企業	9				
		ネジ	8			活躍	9				
		占める	8			潰れる	9				
		聞く	8			ブラック	8				
		子会社	8			国内	8				
		町	7			社員同士	7				
						自分	7				
						全国	7				
						弱い	7				



## 2. コーディング

上の共起ネットワークおよび階層的クラスター分析において導出された8つのコードを基にコーディング分析を行う。上で明記した項目ごとにコーディングを行った。

以上のコード別の単純集計をみたものが、表4である。

表4 コード別にみた度数

コード	度数	割合
社長との距離が近い	36	10.32%
コミュニケーションがとれているが福利厚生は充実していない	22	6.30%
若い人に責任ある仕事を任せる	48	13.75%
縁の下の力持ち	12	3.44%
日本経済を支えている	67	19.20%
下請／町工場として技術を持ち部品作りの経営	185	53.01%
景気の影響を受ける	24	6.88%
社員の給料が安い	99	28.37%
コード無し	57	16.33%
(文書数)	349	

以上のコーディングされたデータを基に、性別と大学別の2つの指標からクロス分析を行う。

1つは、性別である。性別でクロス分析をした結果を示したものが、表5である。性別で統計的に有意な差がみられたコードは確認することができなかった。しかしながら、他のコードと比べて差が大きくみられたものとして、「社長との距離が近い」、「縁の下の力持ち」、「若い人に責任ある仕事を任せる」、「下請／町工場として技術を持ち部品作りの経営」、「社員の給料が低い」といった項目があげられる。なかでも特徴的な点として、「社長との距離が近い」、「若い人に責任ある仕事を任せる」といった労働環境にかかるコードについては、男性よりも女性のほうがその割合が高くなっている。一方で、「下請／町工場として技術を持ち部品作りの経営」や「社員の給料が低い」が安いといった処遇や実績にかかるコードについては、女性よりも男性のほうがその割合が高くなっている。

表5 性別クロス表

	男性		女性		合計		カイ 2乗値
	度数	%	度数	%	度数	%	
社長との距離が近い	19	8.2	16	14.4	35	10.2	2.532
コミュニケーションがとれているが福利厚生は充実していない	15	6.5	7	6.3	22	6.4	0
若い人に責任ある仕事を任せる	28	12.1	20	18.0	48	14.0	1.741
縁の下の力持ち	11	4.7	1	0.9	12	3.5	2.241
日本経済を支えている	42	18.1	23	20.7	65	19.0	0.186
下請／町工場として技術を持ち部品作りの経営	129	55.6	53	47.7	182	53.1	1.558
景気の影響を受ける	16	6.9	8	7.2	24	7.0	0
社員の給料が安い	71	30.6	26	23.4	97	28.3	1.571
ケース数	232	100.0	111	100.0	343	100.0	



もう1つは、大学別である。大学別でクロス分析をした結果を示したものが、表6である。大学別で統計的に有意な差がみられたコードは、「下請／町工場として技術を持ち部品作りの経営」と「コミュニケーションがとれているが、福利厚生は充実していない」の2つであった（ただし後者の回答割合は低い）。いずれもA大学のほうがその割合が高く、とくに「下請／町工場として技術を持ち部品作りの経営」のコードに至っては、過半数を超えた回答がみられる。

また統計的な差は確認できなかったが、他のコードと比べて差が大きくみられたものとして「縁の下の力持ち」と「社員の給料が安い」といったコードがあげられる。

大学生が中小企業をイメージするという点に関連して、A大学とB大学の違いを指摘するとすれば、B大学は、大阪に立地する大学であり、地域の中小企業団体との連携を通じて、さまざまな業種の中小企業経営者が直接学生に語る講座を多く開設しているという点があげられる。B大学でも、A大学と同様に、「下請／町工場として技術を持ち部品作りの経営」のコードの回答割合が比較的高くなっているように見えるが、A大学と比べるとその割合は統計的に差が顕著になるほど低くなっている。B大学の学生は、多様な業種の中小企業の経営を学ぶことにより、必ずしも下請や町工場、技術や部品といったイメージを中小企業に比較的強く持たないということが推察される。

表6 大学別クロス表

	A 大学		B 大学		合計		カイ 2乗値
	度数	%	度数	%	度数	%	
社長との距離が近い	28	10.8	8	8.9	36	10.3	0.099
コミュニケーションがとれているが福利厚生は充実していない	21	8.1	1	1.1	22	6.3	4.415*
若い人に責任ある仕事を任せろ	35	13.5	13	14.4	48	13.8	0.002
縁の下の力持ち	12	4.6	0	0.0	12	3.4	3.036
日本経済を支えている	49	18.9	18	20.0	67	19.2	0.005
下請／町工場として技術を持ち部品作りの経営	150	57.9	35	38.9	185	53.0	8.958**
景気の影響を受ける	20	7.7	4	4.4	24	6.9	0.667
社員の給料が安い	67	25.9	32	35.6	99	28.4	2.626
ケース数	259	100.0	90	100.0	349	100.0	

## V 小 結

本稿では、大学生を対象とした筆者が独自に調査した内容に基づき、こんにちにおける日本の中小企業に対して、どのようなイメージを抱いているのかを明らかにするとともに、それらのイメージのそれぞれの関連性のあり方について、若干の考察を行うことを目的としていた。

上でもすでに示したように、本稿での検討の結果、大学生がこんにちの中小企業に対して抱くイメージは、次の8つに集約できることが明らかとなった。具体的には以下のとおりである。

「経営者との距離が近い」

「コミュニケーションがとれているが、福利厚生は充実していない」

「若い人に責任ある仕事を任せる」

「縁の下の力持ち」

「日本経済を支えている」

「下請や町工場として技術を持ち、部品作りの経営をしている」

「景気の影響を受ける」

「社員の給料が安い」

筆者は、2014年度に実施した同様の調査から得たデータを分析したところ（1つの大学からの有効回答338）、次の11つの中小企業のイメージを導出している（拙稿、2018）。

「大企業の下請として日本を支える」

「縁の下の力持ち」

「事業に特化し地域に密着する」

「卸売や小売として生産を仲介する」

「社長との距離が近い」

「大手と比べて社員の給料が低い」

「海外で通用する優れた技術を持つ」

「経済の影響を受ける」

「地方に存在する製造業／ベンチャーで世界に知られている」

「細かいネジを作っている」

「技術力は高いが少人数で個人企業の町工場の経営で倒産しやすい」

まずこの2014年度のデータから導出された中小企業にかかる11つのイメージと、本稿での分析から導出された8つの中小企業にかかるイメージを対比させると次の諸点を指摘することができる。第1に、ほぼ内容が一致している項目があるという点についてである。これには、1つは、経営者や社長との距離が近いという点である（2014年度は社長、2015年度は経営者）。2つは、縁の下の力持ちという点である。3つは、景気や経済の影響を受けるという点である（2014年度は経済、2015年度は景気）。4つは、社員の給料が安い／低いという点である（2014年度は低い、2015年度は安い）。

第2に、内容が部分的に一致している項目があるという点である。これには、1つは、日本を支えているという点である。2014年度は、大企業の下請という用語を伴ったが、2015年度は、下請という用語はここでは落ちており、その代わりに経済という用語を伴っている。2つは、技術を持った町工場の経営という点である。2014年度は、少人数や個人企業、また倒産しやすいという用語を伴ったが、2015年度は、これらの用語は落ちており、その代わりに下請、部品作りといった用語を伴うことで、2014年度のマイナスイメージから2015年度のプラスイメージに転換している。

第3に、項目によっては導出されなかったり、新規に導出されたりしている項目があるという点である。2014年度には、「卸売や小売として生産を仲介する」、「海外で通用する優れた技術

持つ」、「地方に存在する製造業／ベンチャーで世界に知られている」、「細かいネジを作っている」といった項目が導出されたが、2015年度では導出されなかった。2015年度では、この代わりに、「コミュニケーションがとれているが、福利厚生は充実していない」、「若い人に責任ある仕事を任せる」といった項目が新規に導出された。

2014年度と2015年度とで導出された項目に、類似性や相違点などがみられた点については、慎重な検討が必要であると考え、この点にかんしては今後の課題としたい。ここで指摘できることの1つは、上に示されたように、経営者や社長との距離が近い、縁の下の力持ち、景気や経済の影響を受ける、社員の給料が安い／低いといった点、さらには日本を支えている、また技術を持った町工場の経営といった点が、大学生が中小企業に対してほぼ共通して抱くイメージであるということである。もう1つは、相違点についてである。これにはデータを習得したときの社会情勢やメディアによる影響などさまざまな理由があろう。この検討については、今後の課題<sup>1</sup>としたい。

大学生は中小企業の存立実態を正しく認識していないにもかかわらず、中小企業に対して上の諸点のイメージを有している。そもそも中小企業がイメージどおりに存立しているか、その実態については綿密な調査などが必要であろう。そのうえで、また大学生がなぜ上のようなイメージをもつのかということと、それが調査の結果として明らかとなる中小企業の存立実態と乖離があるとすれば、それは何らかの方法によって是正されていかなければならないであろう。これらの中小企業のイメージと実態とがいかに乖離しているか、また乖離しているとすれば、それはどのように是正していくかについては、本稿で示された諸課題と合わせて、あらためて検討していく必要がある。

本稿は、拙稿（2017:2018）に続く、中小企業のイメージにかかる、2015年度のデータをもちいた分析である。筆者は、2015年度以降にも毎年継続して中小企業のイメージにかかるデータを収集してきている。これらのデータを経時的に分析していくことはもちろんのこと、本稿の学術的位置づけを明確にしたり、さらには本稿で得られた分析結果を慎重に解釈するだけでなく、学術的意義を導出したりしていくことなどについては、いずれも今後の課題である。これらはかたちを変えて、別稿にて提示することとしたい。

#### 参考文献

- 中小企業庁（1972）『中小企業白書』大蔵省印刷局  
中小企業庁（1992）『中小企業白書』大蔵省印刷局  
後藤康雄（2014）『中小企業のマクロ・パフォーマンス－日本経済の寄与度を解明する－』日本経済新聞出版社  
後藤康雄（2015）「日本経済における中小企業のプレゼンスと政策のあり方」独立行政法人経済産業研究所（RIETI）BBLセミナープレゼンテーション資料（[http://www.rieti.go.jp/jp/events/bbl/15012301\\_](http://www.rieti.go.jp/jp/events/bbl/15012301_)

1 分析方法のうえで指摘するとすれば、階層別クラスター分析における語の最小出現数が指摘できる。2014年度では、この最小出現数は5で設定したが、2015年度では7としており、この結果として、2015年度では分析対象の用語数が相対的に少なくなっていることから、導出された項目数が結果として少なくなったものと考えられる。

goto.pdf) (2017年4月1日閲覧)

松井敏邇 (2004) 『中小企業論』 晃洋書房

関智宏 (2017) 「中小企業をイメージする - 2013年度における大学生を対象とした調査から -」 同志社大学商学会 『同志社商学』 第69巻第1号, pp.85-148

関智宏 (2018) 「中小企業をイメージする (2014年) - 2014年度における大学生を対象とした調査から -」 同志社大学商学会 『同志社商学』 第69巻第4号, pp.61-88

寺岡寛 (2005) 『中小企業の政策学 - 豊かな中小企業像を求めて -』 信山社

山中篤太郎 (1948) 『中小工業の本質と展開 - 国民経済構造矛盾の一研究 -』 有斐閣

別表

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
1	A大学	商	6	1	ワンマン社長 モノ作り ロケットの部品を作っているところもある 作業着 不安定	11	A大学	商	4	1	人数が少ない 平均年齢が低め 責任は大きい自由になれる 大企業と比べて倒産しやすい
2	A大学	商	5	1	企業としての規模が大企業に比べて小さい 若いうちから仕事を任される ブランド力が低い 大企業にある安定がない（少ない） 世間の評価が低い	12	A大学	商	4	1	大企業にふりまわされている 給料が低い 工場で何か作っている 熱意がある 不況になると取り上げられたり、好況でも中小企業は苦しんでいると報道されている
3	A大学	商	5	1	大企業と比べて規模が小さい 縁の下の方持ち 企業の99%が中小企業なのに知られていない 勝手なイメージだが、潰れるリスクが高い 自分の能力を反映しやすい	13	A大学	商	4	2	モノづくり（自動車部品、ベアリングetc） 1～999人ほどの規模 グローバルに展開している企業も多く存在する 離職率が低い 理系の割合が多い
4	A大学	商	5	1	東大阪の町工場 独自の技術で、世界でシェアを持つ部品を製造する会社 社員の数が少ない 誰も想像しないような新しいことをする 家族経営の工場	14	A大学	商	4	1	地方を拠点に経営が行われている 特定の技術を持っている 技術者が多い 規模は小さいが社内に活気がある 若いうちから裁量権を持って仕事ができる
5	A大学	商	5	1	市場がニッチ 資本が少ない 意思決定が速い 歴史が浅い 中途採用が多い	15	A大学	商	4	1	売上高や従業員数が少ない 大企業が出していないニッチな市場に手を出している企業もいる 世界的にシェアを得ている企業もいる 小回りが利き新しいことを始めやすいが、金銭的な理由であまり大きなことはできない 消費者向けよりはB to Bが多い
6	A大学	商	5	1	従業員数が少ない 大企業と取引している 資本金が1億に満たさない ビジネスの規模が小さい 収入が少ない	16	A大学	商	4	1	町の小さな企業 低収入 社員の数が少ない 経営の不安定 すごい技術
7	A大学	商	4	2	給料が大企業と比較して少ない 従業員数が少ない 中小企業と聞いて思いつく会社が少ない 取引が大変 残業が多い	17	A大学	商	4	2	日本企業の99.7%を占める 規模が小さい 車の部品を作る（サプライヤー） 経済を支えている 支店がない（少ない）
8	A大学	商	4	2	大企業の下請 経営者（社長）も現場の人と同じように必死 名前があまり知られない 働く人が少ない つぶれないために必死（大企業などの余裕はない）	18	A大学	商	4	1	B to B 企業 資本金が少ない 日本の社会を支えている グローバル化 高い技術力
9	A大学	商	4	1	子会社が少ない 資産が少ない 従業員数が少ない 大企業と比べて本部が大都市にない リストラが少ない	19	A大学	商	4	1	給与、福利厚生がよくない 倒産リスクが高く不安定 規模が小さくメーカーのいいなり ブラック 大手>中小企業の絶対的なヒエラルキーが存在している
10	A大学	商	4	1	地域に密着したサービスを提供する 大企業の下請会社 京都の「老舗」と呼ばれる会社 ベンチャー企業 大企業に事業を買収される	20	A大学	商	4	2	社員数が少ない 売上高が低い 表舞台に出ない、宣伝していない 倒産する可能性がある 新しい仕事に挑戦できない

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
21	A大学	商	4	2	あまり有名でない、名前が知られていない 支店数が少ない 家族経営である 福利厚生がうまく整っていない 細かな部品を作っているところが多い (サプライヤー)	30	A大学	商	4	1	下請 財務基盤が不安定 物作り 意外と突出した技術を持っている ワンマン経営
22	A大学	商	4	2	町工場 (下町のイメージ) 不況で一番影響を受ける 女性社員は少ない 給与が大企業に比べて低い 高齢化問題で、後継ぎが少なくなっている	31	A大学	商	4	1	日本の99%以上の企業 技術力がある 知名度が低い 大企業から仕事の依頼を受ける 規模が小さい
23	A大学	商	4	2	規模が小さく知名度が低い アットホーム (経営者と従業員との距離が近い) 99.7%を占めている (日本の産業の) サプライヤーが多い 東大阪	32	A大学	商	4	1	従業員の数が少ない 若い時から責任ある仕事を任せてもらえる 成長性がある 大企業に比べて給与が少ない 大企業に比べると安定性がない
24	A大学	商	4	1	従業員が少ない 手堅く儲けている 大企業との取引が多い 知名度が低い 会社が小さい	33	A大学	商	4	1	大企業の縁の下の力持ち 地方銀行との関わりが強い 給与が少ない 地域の発展に必要 中小企業=ブラック企業
25	A大学	商	4	1	気づいていないだけでそこら中に事務所等がある 技術持っている所はすごい技術を持っている	34	A大学	商	4	1	下請 働く人数が少ない 日本を支える 忙しい 急成長する勢いがあったりする
26	A大学	商	4	2	地域社会発展への貢献 成長性 経営者の夢がダイナミック 安定性は見込めない 少人数	35	A大学	商	4	1	銀行からお金を貸してもらいにくい 資金繰りが苦しい 大企業に対して立場が弱い CMなどがなく知名度が低い 従業員の扱いがブラックもしくはグレー
27	A大学	商	4	1	小さいものを作っている 従業員があまりいない 大企業からの依頼を受ける	36	A大学	商	4	1	町工場のような地方にある小さい工場 地方の田舎にある企業 大企業の下請企業 誰も知らない企業 規模が小さく、経営難に陥りがち
28	A大学	商	4	1	特別な技術・技があるが、従業員数が少ない会社 知っている大手企業を除いたすべての会社 経営がかなり難しい企業 大手企業の子会社 子会社を持っていない	37	A大学	商	4	1	ブラックサンダー、ガリガリ君 IT系、アプリ会社 少人数精鋭 町工場 下請会社
29	A大学	商	4	1	大企業の下 ブラック、就職先には考えていない オーナー企業の社長が死んだときなどのリスクはどうなのか もしトップに何かあったとき、しっかりと取り上げることができるのか、そういう人材を育てているところは少ないのでは 良い人材を集められない 規模が小さいがゆえ、景気の影響がもたらに給料に響く もしトップに何かあったとき、しっかりと取り上げることができるのか、そういう人材を育てているところは少ないのでは 目の前の業務で手一杯	38	A大学	商	4	1	中小企業診断士 カネが少ない ヒトが少ない ノウハウが少ない 町の工場
						39	A大学	商	4	1	従業員が比較的少ない 全国総店舗数が大企業に比べて圧倒的に少ない 社長との距離が近く、伝えたいことをしっかりと話すことができると聞いたことがある 成長性があるといえる一方、伸びる会社、伸び悩む会社とがはっきり差別化されている 若い時から責任のある仕事を任せられる

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
40	A大学	商	4	2	製造業（町工場） 資金集めが大変（半沢直樹の町工場） B to B 企業 ニッチ業界でシェア高い アットホーム	50	A大学	商	3	2	大手ではない企業 自営業 工場 サービス業 職員同士のかかわりが深い
41	A大学	商	3	1	従業員が少ない 製品を作るための工具を作っている 下町に多い 企業数が多い 1人の負担が大きい	51	A大学	商	3	1	大企業の下請が多い 伝統産業の会社が多い 力は持っているが生かされていない 未来工業や伊那食品工業
42	A大学	商	3	1	あまり儲かっていない 従業員が少ない 大きい会社ではない 給料が低い 株式会社が少なく、合名会社や合同会社が多い	52	A大学	商	3	1	ありふれている 活動範囲が狭い どこにでもある 一般的な就職先である 様々な業界で活躍している
43	A大学	商	3	2	安定していない 従業員が少ない 大企業より社長との距離が近い 大企業の縁の下の力持ち的な子会社 倒産が多い	53	A大学	商	3	1	精密機械の部品の製造 地元の食品会社 業務用品を扱う会社 車の整備 土木事業者 卸売業
44	A大学	商	3	2	工場 小規模 町の 備品 原料	54	A大学	商	3	1	たくさんある 給料低い 日本を支えているのは大企業ではなくて 中小企業 いつぶれるかわからない いずれ、どんどん力をつけてきて大きくなる
45	A大学	商	3	1	大企業の下請 日本経済を名も知られずに支える縁の 下の力持ち 町工場などで小さな部品をつくる 地域ごとのつながりが強い 少数精鋭で会社を運営している	55	A大学	商	3	2	人が少ない たくさんある 未来の日本を支える 大企業を支える あまり知られていない
46	A大学	商	3	2	発展途中 制度がきちんとして決まっていない 大企業よりも儲かっていない 社員の顔を全員知っている 大企業に支えられてそう	56	A大学	商	3	2	就職活動の時期が早い 大阪が強い 細かい部品を扱う はやぶさプロジェクト メジャーでない 仕事内容がはっきりしていない
47	A大学	商	3	1	国内の大部分を占めている 職人などのこだわりの仕事 1つのジャンルで細かく細分化されている 長く経営を維持するのは難しい 上から下まで管理が行き届いている	57	A大学	商	3	2	大企業よりも数が多い 中小企業の社名がパッと思い浮かばない 大企業よりも給料が少ない 中小企業は都心以外のところに多く立地している 中小企業がどういう取り組み、経営しているのか、日本にどんな影響を与えているのかよくわからない 大企業よりも経営が難しい 新しい事業に挑戦するが、大企業よりも困難 資金少ない
48	A大学	商	3	1	従業員があまり多くない 大企業と比べて給料もあまりよくなく、福利厚生も充実していない 一部の中小企業は、大企業にも勝る技術力を持っている 大企業を支えているのは中小企業 ホワイト企業とブラック企業の差が激しい	58	A大学	商	3	1	大企業が進出していない業界での独占状態 町工場 男性が女性より圧倒的に優位な職場環境 経営資源が不足している 賃金が高くはない(低いとも限らない)
49	A大学	商	3	1	賃金が高い 大企業よりも職場環境が温和 エリート集団ではなく努力集団 たくさん存在している 縁の下の力持ち						

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
59	A大学	商	3	1	給料が少ない 超ホワイトか超ブラックかの二択 倒産しやすい クビになりにくい オフィスがせまい	68	A大学	商	3	1	従業員が少ない 経営にブレがある 不況に陥った際に、真っ先に影響を受ける 学生は大企業ばかり受けるため、人材不足である 資本が少ないため、新しい分野や新しいものへの投資が難しい
60	A大学	商	3	1	規模が小さい 従業員が少ない メディアなどの露出が少ない 給与が大企業に比べ差がある 日本でも8割ぐらいの会社・企業が中小	69	A大学	商	3	1	大企業の陰に隠れている 日本経済の土台を作っている 大企業と比べて社員や工場、資本などの規模が小さい 独特な発想やモノづくりをしている企業が多い 中小企業には日本のものづくりを支えている企業が多い
61	A大学	商	3	1	地方に多い 人数が少ない 地域と密着している 職人などが多い 高い技術力を持っている	70	A大学	商	3	1	社員の数が少ない 製品の一部分などをピンポイントで作る 大企業の下請 種類が多い 伝統的な産業の相続
62	A大学	商	3	1	下町 高い技術力 大企業の下請 社長と社員との距離が近い 人員が少ない	71	A大学	商	3	2	従業員の数が少ない いつ倒産するのかわからない アットホーム 大きな会社の下請会社 従業員が一致団結している
63	A大学	商	3	1	大企業に比べて規模が小さい 部品などのように完成品ではないものを取り扱っているところが多い 大企業を志望する人が多いため、人材が少ない 都心に少なく地方に多い 経営が不安定なため、倒産する話を聞く	72	A大学	商	3	2	不安定 給料が低い 一族で経営している＝コネ 日本国内で活動している 社員が少ない
64	A大学	商	3	2	会社の規模が小さい 技術は大企業と同等 世界レベル (NASA 等) での取引も行っている 東大阪に多い 会社の数は全体の90%を占めている	73	A大学	商	3	2	自由 資本金が少ない 危険 就活でよく行く所 日本経済を支えている
65	A大学	商	3	1	大企業の下請 工場 田舎にある 社員が少なく、仲良し 年齢層が高い	74	A大学	商	3	2	大企業から依頼された仕事をする 大きい物を作るときの内の小さな部品を作る 町工場 日本の経済を支えている 1つに特化したパーツを作る
66	A大学	商	3	1	株主というよりは個人経営 資金が大企業よりも少ない いつまでたっても経営が苦しい 社員として入社したらチャンスが多い ビッグビジネスは大企業が中心で介入が難しいから、比較的それらを支える業務をしている	75	A大学	商	3	2	大企業より給料が低い あまり有名ではない 社員が少ない 全国的、世界的にいくつも存在しない 中小企業に就職したいと思う人が少ない
67	A大学	商	3	1	大企業を支えている 中小企業の何個かはなくてはならない存在 どちらかというと、完成品までの部品を作っている 人数が300人以下ぐらい 大企業に比べて経営が不安定	76	A大学	商	3	2	少人数、規模が小さい 企業の大部分を占める 資本金が少ない 部品を作っている 大企業に欠かせない



整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
77	A大学	商	3	1	大企業に比べて知名度が低い 大企業に比べて年取が少ない 大企業に比べて従業員数が少ない 大企業に比べて従業員の社会福祉制度が整っていない 村田製作所で作られる半導体がiphoneで使用される 日本の中小企業が持つものづくりの力は世界に通用するものである	87	A大学	商	3	2	たとえば大企業（車会社だったら）のその車の部品を作っている 中小企業があるからこそ大企業が成り立つ 従業員が多すぎない 大企業より中小企業の方が多い 細かい作業がたくさんある
78	A大学	商	3	2	田舎の工場 従業員が少ない 下請の仕事 経営が不安定 車などの部品製造	88	A大学	商	3	1	大企業の下請会社 円安になると海外からの輸入品などが高くなり経営が苦しくなる 人数が少なく、家族的で温かい 町工場としてテレビにたまに社長が出ている 社長と社員の関係が良い 社長が優しいそう
79	A大学	商	3	1	物づくりの最先端 下町 人が少ない 町工場 ネジなどをつくっている 職人の技を持つてる	89	A大学	商	3	1	少数精鋭 たくさんの中小企業で1つの大企業を支えている 緑の下の力持ち 工場（何かの部品を作っている） 若い社長
80	A大学	商	3	1	他にない新しいビジネスをしている 給料が少ない 大企業の補助的な仕事をしている 一つの能力に特化した人材が活躍している 自分たちで全てやらなければならない会社が多い	90	A大学	商	3	2	中小企業は大手企業の下請を行っている 大阪の工業地域の多く存在している もの作り、そのもの作りの技術が優れている 日本だけでなく海外に優れた技術を発信しようとしている 大手企業が経営難の時に下請であると影響を受けやすい
81	A大学	商	3	1	社員が少ない 給料が少ない 大企業の下請 国内に多い 国内の企業のほとんどが中小	91	A大学	商	3	2	社員が少ない 若い働き手が少ない 職人が多い 東大阪市 大企業には規模で負けてしまう
82	A大学	商	3	2	人数が少なく、小さい 経営が大変 小さな部品を作っている 安定してない 技術力がある	92	A大学	商	3	1	ブランド力がない 福利厚生がしっかりしていないところが多い 安定性に欠ける 低賃金重労働 ビジョナリー・カンパニーなどの隠れた優良企業がある
83	A大学	商	3	1	東大阪のネジ工場 海外進出しない シェア率高め 社員が少ない 転職	93	A大学	商	3	1	給料が少ない 大手に比べてアットホームなところが多そう 福利厚生が大手に劣る 昇進すれば大手より給料が多くなることもある 地域密着型
84	A大学	商	3	1	従業員の給与が低い 事業の本拠地を地方都市においている 不況に弱い たまに人工衛星を渡倍したり、とんでもないことをやってのける 大企業に比べて事業の柔軟性が高い	94	A大学	商	3	2	小規模 大手メーカーの取引先 従業員数が少ない 市場競争力が激しい 社長と従業員の距離が近い
85	A大学	商	3	2	人数が少ない 大手よりかなり数が多い 社員同士の距離が近い 大手より会社の規模が小さい CMなど広報が少ない	95	A大学	商	3	2	アットホーム 組織体制がしっかりしていない 小規模 安月給 残業手当のない残業が多い
86	A大学	商	3	1	大企業に比べると劣っている 自分の父の経営している会社 不安定、景気に左右されやすい 大企業の下請 数が膨大である						

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
96	A大学	商	3	1	1人当たりの給料が低い 大企業と比べたら規模が小さい 安定している 良い家庭が築ける 保険がしっかりしている	107	A大学	商	3	1	身内同士で経営 不安定 どんどん減っている 昔からある企業は強い 経営方式が固まっている
97	A大学	商	3	1	工場のようなものづくりをする企業 大企業でないもの 飲食関係 街で見かける小さな土業事務所 従業員の数が数十人程度	108	A大学	商	3	1	ネジ、ナット 小さい事務所 金型 年齢層が高い
98	A大学	商	3	1	ある地域で所倍をしている 国内で主に売買を行っている 従業員同士の絆が深い 特定の商品や食品を販売している 大企業は都会に集中しているが、中小企業は全国に存在している	109	A大学	商	3	2	大企業の下請会社 常に節約で経費削減に努めている 社員満足度が高い 給料が安い 高齢者の働き手が多い(全体的に年齢層が高い)
99	A大学	商	3	1	近年、大企業に負けないぐらい勢いが 出てきたこと 意外と専門分野が広いこと 就職活動で意外と人気がある 大企業の下請をしている 大企業と比べるとイメージはまだ悪い	110	A大学	商	3	2	大企業よりは収入等劣っている 中小企業は日本で大半を占めている 下請会社の立ち位置 あまり有名でなく、ブランド性がない 大企業より就職しやすい
100	A大学	商	3	1	福利厚生が不充実 コネが少ない 安定していない 若いうちから仕事を任せてもらえる コミュニケーションがしやすい	111	A大学	商	3	1	ネジ工場のような会社 街中のビルの中の会社 会社の知名度の低さ 下請 世の中の大半
101	A大学	商	3	2	責任ある仕事を任せてもらえる 独自性がある 大企業よりは安定しない 社員数が多くない 大企業より昇進しやすい	112	A大学	商	3	2	倒産しにくい 業務用中心 残業が多い リストラが少ない 給料安い
102	A大学	商	3	2	不安定 多種類 大企業・経済に影響されやすい 必要不可欠な存在 会社同士の関わりがない	113	A大学	商	3	2	ベンチャー 安定 高収入 働く人の数が少ない 下請
103	A大学	商	3	2	地域密着 工場 少人数で経営が厳しい ブラックが多い 技術力は世界に通用する	114	A大学	商	3	2	経営者により大きく変わる 不安定 その事業でしかできない技術などがある 目立たない存在
104	A大学	商	3	1	町工場で少人数の作業員 作業員の高齢化 大企業の下請 日本の中小企業の技術レベルは世界随一 日本の高度経済成長を支えた人々	115	A大学	商	3	1	会社の数が多い 種類が多い 大企業に見劣りしてしまう ベンチャー企業の活躍 下請が多い
105	A大学	商	3	1	従業員が少ない 社長と社員とのコミュニケーションが活発 福利厚生が充実していない 従業員同士の交流が多い 地方に会社がある	116	A大学	商	3	1	給料が低い 企業の数が多い 大企業に比べて就職しやすい 社員数が少ない 地方にある
106	A大学	商	3	1	従業員は十数人 オフィスではなく少し大きめの一般家 屋が職場 昼食は経営者の奥さんが作ったものを 食べる 卸売もしくは工業部品を作る業務 終身雇用						

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
117	A大学	商	3	1	小さな組織なので意思決定が素早く反映される 税率が上がった際、部品のコストが上がるが、そのままの価格で大企業に納品しなければならず、苦しんでいる 景気の悪い時にしわ寄せが来るが、よくなってもすぐ賃金に反映されない メディアによりイメージの成果、儲かっているイメージがない 近年では、中小企業にスポットライトを当てた番組が作られている（ガイアの夜明け、カンブリア宮殿、プロフェッショナルなど、中小企業の回が増えた気がする）	125	A大学	商	3	1	代々親から子へ会社が受け継がれている 従業員は多くても100人ほど 地域密着型の会社 専門的な商品やサービスを扱っている これから成長していく会社
118	A大学	商	3	1	小さい（会社の規模） 安定した給料が入る 保険がしっかりしている エリートがいない 努力家がたくさんいる	126	A大学	商	3	2	少人数で成り立っている企業 ブラック企業がない 金属部品を扱っている 大企業から無理な要請を受けている 景気に左右されやすい
119	A大学	商	3	1	大企業に比べて規模が小さい 地方に多い 製造するものが小さい 大企業からの圧力が強い 国からの援助が少ない	127	A大学	商	3	1	賃金が安い 福利厚生が悪い 学歴の低い人が多い 残業代が出ない 安定した経営ができていない
120	A大学	商	3	2	大企業を支えている企業 ベンチャー企業 細かい技術が発達している 少人数体制 独自の強みがあることが多い	128	A大学	商	3	1	中小企業は大企業と比べて自分たちのやりたいことを絞って深く深くつき進めていく企業 規模が小さい ベンチャー企業が多い 経営が難しい ブランド力が乏しい 人手不足
121	A大学	商	3	2	工場長 部品作り 高齢化社会 コンクリート 流通 他の会社との関わり、企業間取引 B to B	129	A大学	商	3	2	人材が大企業より少ないのでまとまり（チームワーク）がよい 大企業から受けた仕事をこなす 専門的な仕事が多い 雰囲気よさそう、働きやすい 大企業の役に立つ
122	A大学	商	3	2	こじんまりとした企業 その会社の業績などには関係なくただ大企業とは違い、小規模でコツコツ利益を伸ばしている 大企業は大きなプロジェクトを企画して、大成したり、失敗したり、それによって、大きく利益が上下する	130	A大学	商	3	1	規模が小さい 人材の技術力が高い ブランド力が乏しい 下請企業がほとんど 勝ち残るのが難しい ある程度自由がきく
123	A大学	商	3	1	景気が悪くなればすぐに倒産に直結する ブラック企業 下請工場の技術力がとても高い 大企業などの親会社に切られる 少し前まで調子が良くてもすぐダメになる	131	A大学	商	3	1	取引先 工場 人数少 賃金安 ホワイト
124	A大学	商	3	1	そんなに大きくない分、安定している 収入がそんなに多くないが支出も少ない 昔から続いている企業は強い 努力家 入るのが楽	132	A大学	商	3	1	企業努力をしている 給料が少ない 従業員が少ない 人間関係が作りやすい 日本を下から支えている
						133	A大学	商	3	1	工場 家族 作業着 信頼関係が深い 従業員が少ない
						134	A大学	商	3	1	数が多い 狭い範囲で商売をしている あまり大したことをしていない 大企業に比べ忙しい 中小企業はなくてはならない
						135	A大学	商	3	1	給料が安い 専門的な商品を取り扱う 社会的地位が大企業に比べて低い 利益効率の高い企業が多い ホワイトな職場が多い

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
136	A大学	商	3	2	工場の部品を作っている 田舎の小さい空間に会社がある 社長と従業員との関係が深い 大企業より中小企業の方が分野に特化している 大企業が主な取引相手	147	A大学	商	3	1	業界内での売り上げが低い 業界内でのシェアが少ない 低賃金、低資本、従業員が少ない 生き残るために、他にはない独自の能力を持っている 生き残るために、大企業とは支店が違う戦略やコンセプトを持つ
137	A大学	商	3	1	親族経営の企業が多い 東証には上場されていない 不況のあおりを受けやすい 福祉が整っている企業が少ない 安定した企業が少ない	148	A大学	商	3	1	大企業の下請的な存在 実態が見えない 福利厚生が充実していない 経営難に陥りやすい 中小企業だから出来ることがある
138	A大学	商	3	1	中小企業診断士 町工場 地位が低い 銀行へよく行っている 従業員が少ない	149	A大学	商	3	2	大企業より年収が低い 従業員や社員数が少ない 工場など専門の技術が必要とされる あまり有名ないところがない 大企業と提携して支える存在
139	A大学	商	3	1	給料が高くはない 地味 従業員が少ない 良くはない 沢山存在する	150	A大学	商	3	2	日本社会を支えている 大企業と比べるとマイナー あまり名前の知られていない企業が多い 企業全体コミュニケーションが多い 少人数規模
140	A大学	商	3	2	町工場のおじさん 金属加工 経営難 地域とのつながり 最近の海外進出	151	A大学	商	3	1	大企業の下請 意外と地域性がある 力のある中小も多い 大阪の中小の工場などはロケットの部品提供をしているところもあるらしいので、分野によっては力を入れる物事を絞っていて、あえて中小企業でいるという企業も多そう 日本の縁の下の力持ち
141	A大学	商	3	1	下請 大企業を支えている あまり目立たない 社員教育が行き届きやすい 景気の影響を受けやすい 社員を大事にする	152	A大学	商	3	1	中にはすごい会社もある 収入が少ない 安定してない 若くても重要な仕事を任せてもらえる 小さい分、コミュニケーションがスムーズに進む
142	A大学	商	3	1	社員数が少ない CMが流れない 福利厚生が悪い 子会社 下請	153	A大学	商	3	2	大企業ではなく小さい企業 あまりよくない、会社が小さく社員も少ない 売り上げがあまりよくないか下がっている 大企業になる途中の企業 CMとかではあまり見ない企業
143	A大学	商	3	1	会社の売り上げが少ない 会社名が思いつかない 町工場 女性よりも中年の男性がいる 都会にはない	154	A大学	商	3	1	小規模経営 従業員が少ない 無名 個人経営・家族経営 第二次産業
144	A大学	商	3	1	大企業の下請 世の中の細かいニーズにこたえる企業 ある一定の商品を作り続けている 一般に知られてはいないが、高い技術力を持った企業が多い 企業の経営状況などの情報をあまり公表していない	155	A大学	商	3	1	大企業などの下請会社 工場 従業員と経営者が一体となっている 日本の経済を陰で支えている 低い賃金
145	A大学	商	3	1	東大阪の工業地帯 ものづくり企業 人手不足が問題点である 海外進出が進んでる 日本の経済を支えてきた存在	156	A大学	商	3	1	小さな工場 従業員が少ない 資金が少ない 家族経営 日本国内だけの営業
146	A大学	商	3	1	技術は持っているが、それを世に知らしめることが得意ではない企業 大企業の条件に当てはまらない企業 従業員と資産が少ない会社 ベンチャー企業が多い ほとんどが中小企業						

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
157	A大学	商	3	1	日本で大企業は一部であり、ほとんどが中小企業で数が多い 日本の経済を支えている 今後の発展が期待できる ブランドをすぐに思い浮かべられないものづくり系が多い	167	A大学	商	3	1	少人数で工場をやっている 部品を作っている 意外と世界で活躍するような高度な技術がある 熟練の職人さんがいる 頑張っけて働いても給料が少ない
158	A大学	商	3	1	大阪に多い 最近、宇宙産業を頑張っている 製造業 卸売業 意外に技術がすごい	168	A大学	商	3	1	有名でない 規模が小さい 下請 あるものの部品を作っている 技術的に優れているところもある
159	A大学	商	3	2	企業のほとんどを占める 規模が小さい 人数が少ない 大企業に比べると、専門的分野を扱う就職しやすい	169	A大学	商	3	1	下請 しんどい 技術力がある 1店舗（チェーンではない） 飲みに行ったりしてそう（全員で）
160	A大学	商	3	1	リストラや倒産などが比較的多い 休日がない 賃金が正しく支払われていない 表舞台に出ている人や物を陰ながら支える	170	A大学	商	3	1	地に根付く企業 下請関連・会社 都会ではなく地方に多く存在している 従業員が少なく、資金も少なく、給料もあまり多くない 成長性に期待ができず、また将来的に不安定 ニッチ産業に特化しているものも存在
161	A大学	商	3	1	福利厚生などの制度が整っていない 給料が低い 人数が少ない 大企業の傘下 従業員一人一人が活躍できる	171	A大学	商	3	1	規模が小さい 従業員も少ない 企業名があまり知られていない 我々が知らない分野で世界有数のシェアがあったりする ホワイトとブラックの差が激しい
162	A大学	商	3	2	車の会社ならば、その車を作るために使っている部品を作る企業 印刷会社 大量生産 一つの場所からいろんなところに運ばれている 大企業と比べると従業員が少ない	172	A大学	商	3	1	大企業よりも自由 福利厚生がよい 日本を支えている 魅力がある
163	A大学	商	3	2	従業員が少ない 製造業 特有の技術を持っている 一般にはあまり企業名を知られていない 特有の分野ではシェア率がNo.1であったりする	173	A大学	商	3	2	不安定 成長途中 新入社員育成において面倒見がよい 雰囲気温かい 挑戦をどんどん行っている
164	A大学	商	3	1	大手企業の下請 従業員数が少ない 取り扱う金額が大きい 高齢な従業員が多い 地方に会社がある	174	A大学	商	3	2	ホワイト 大企業よりも仕事がきつくない 給料が高そう 従業員が少ない 会社が小さい 多く存在する
165	A大学	商	3	1	大きな企業の下位互換 どういう業種であっても社名を聞いてぴんと来ない 収入が高くはない 福利厚生が充実してない コミュニケーションはよく取れて仲間意識は大企業より強い	175	A大学	商	3	2	大企業のための部品などをつくるところ 大人数 郊外 たくさんある なくてはならない土台
166	A大学	商	3	1	大企業よりも劣る 部品など大企業の下請 大企業よりも技術が必要とされる 大企業よりも可能性がある 意外と利益がある	176	A大学	商	3	2	給料が少ない 規模が小さい 社員の距離が近い 融通が利く 福利厚生が良くない
						177	A大学	商	3	1	大企業になる見込みがある 若い人が多い 新しいことに取り組んでいる 社員が少ない リストラが少ない

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
178	A大学	商	3	2	大企業の方が福利厚生がしっかりしている バブル崩壊のような出来事が起きた時、中小企業の方が国の支援があまり受けられず、つぶれてしまう	188	A大学	商	3		日本を支えている 部品等、小さなものを作る会社が多い 会社の数が多い 中小企業あつての大企業 聞いたことのある会社が少ない 安定した業績を上げている
179	A大学	商	3	1	大企業と比べて企業のブランド力というものが小さい 企業自体が小さいので、終身雇用というような安定性が乏しい 働いている方々の平均年齢が高い 大企業と比べて年取が低い 高校生や中途での就職が大半を占めている	189	A大学	商	3	2	最近注目されている 保障がない 地域密着 実態が分かりづらい 将来性がある
180	A大学	商	3	1	町工場 ネジなどのいろいろな部品作り 技術力の高い従業員・製品 10人程度の小規模経営 経営状況はどこも厳しい	190	A大学	商	3	1	給料が安い 経営者と距離が近い 若くても大きい仕事を任せてもらえる 裏の目立たないところで頑張っている 働いている人が大企業より少ない
181	A大学	商	3	1	地元密着 雇用人数が大企業より少ない 下請 一族経営 一応、株式会社	191	A大学	商	3	1	業種の幅が広い 取引の額が低い 取引相手が大企業 大企業に比べ収入が低い 中小企業がなかったら、大企業はつぶれる
182	A大学	商	3	1	個人経営 景気に左右される 社員が少ない 社長やトップは親→子→孫へとつながっていく 給料が少ない	192	A大学	商	3	2	大企業の下請 車などの部品を作っている企業 大企業の注文に苦しめられている 全企業数の大半 大きなもの(車、建物など)を作る企業には欠かせない
183	A大学	商	3	2	大企業を支える 皆から知られていない その企業にしかできないマイナーな技術を持っている 商品の部品や成分、原材料を作っている いろんな企業と提携している	193	A大学	商	3	2	会社自体の大きさが小さい 地域で発展している 資金が大企業より少ない 大企業ではない特殊な部門を専門としている 大企業よりも活躍する範囲が狭い
184	A大学	商	3	1	大企業の下請 製造業 自営業 人数が少ない 景気の影響を受けやすい	194	A大学	商	3	2	下請企業 工場 企業数が多い 大手企業よりも名前が知られていない 大企業よりも就職しやすい
185	A大学	商	3	1	従業員が少ない 一つのことを秀でている 日本を支えている 給料が少ない 人間関係が作りやすい	195	A大学	商	3	2	家族経営でかつかつ、田舎で経営 工場 下請 ベンチャー企業 革新者 実は世界に発信しているものを作っている 若いものばかりの新たなサービスを作っている。新鮮
186	A大学	商	3	1	規模が小さい 借金に追われているところもある 世界に通用する技術力を持っているところもある 大企業の子会社 縁の下の力持ち 契約切り 町の工場	196	A大学	商	3	1	倒産する可能性が高い 従業員が少ない 給料が安い 社内の雰囲気アットホームである 地域とより密接に関わっている
187	A大学	商	3	1	独自の技術を持っている 地に根付いている 大企業に振り回される 消費者のニーズにこたえてくれやすい 身近に感じられる	197	A大学	商	3	1	規模が小さい 従業員が少ない 大企業の下請 世間の認知度が低い 倒産する恐れがある

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
198	A大学	商	3	2	部品作りをしているところが多い 1つ当たりの企業として人数が少ない 技術が必要（高度な技術） 東大阪に多い 福利厚生が充実してない	208	A大学	商	3	2	福利厚生が不充実 コミュニケーションがスムーズ 経営者の方針に左右されやすい 安定 若いうちから仕事を任せてもらえる
199	A大学	商	3	2	経営者との距離が近い コミュニケーションがスムーズ 意思決定が速い 仕事の知識を習得するサポートがある 個人が経営している	209	A大学	商	3	2	大手の下請をしている 部品を作ったり、それらを組み立てる 町に工場がある 工場での作業が主になっている 大手に比べてアットホーム、社員同士の距離が近い
200	A大学	商	3	1	少数精鋭 下請をやっている会社 小さい規模だけどニッチな業界でビジネスを展開している	210	A大学	商	3	2	出世しやすい 年収低い 安定しない 産休・育休が取りにくい 労働者少ない
201	A大学	商	3	2	就職活動で第一志望にはしない こじんまりとしたオフィス 緑色のつなぎの服を着て仕事をする 町工場 社長と家族による経営 中小企業同士は協力し合っている	211	A大学	商	3	1	自分の親が自営業している会社 地元密着 大企業の下請 企業内の家族感の強さ 自由がきく
202	A大学	商	3	1	細かい部分を知ると「実はすごい！」 と思う魅力がある 日本を支えている 大企業より賃金は安い 昇進が早い 入社してからすぐに仕事を任せられる 大企業よりも自由	212	A大学	商	3		いろいろなことをしなければならない 入りやすい ルールは少なくない 社長と交流する機会が多い 忙しい
203	A大学	商	3	1	下請 規模が小さい 人手不足 ベンチャー 不安定	213	A大学	商	3		社員数が少ない 会社は大きくない 給料が少ない やり取り数は単一 社内関係がよい
204	A大学	商	3	1	大企業の下請企業 無数にある 大企業が成り立つためになくはない 薄給 少人数で経営を回している ので1人分の仕事が多い	214	A大学	商	3		日本経済を支えている 金融業界ではない 政府は中小企業に対して、有利な政策 を実施している 経営規模が小さい 資本金が少ない 従業員が少ない
205	A大学	商	3	1	資本金が少ない（億まではいかない） 従業員が少ない（千の単位） 全国に展開していない、地域に密接 融資元が地方銀行 IR等の企業情報があまり公開されて いない 労働組合がない、少ない	215	A大学	商	3		社員が少ない 企業規模が小さい 経営がうまくいっているとき、給料が 高い 経営状態が悪い時、給料が低い いつか倒産する可能性がある 個人的な企業
206	A大学	商	3	1	やっつる関西や！ 東大阪の工場群 手形の不渡り 一族経営 ワンマン社長 飲み会がきつい 人不足	216	A大学	商	3		卸売業 従業員100人以下くらい 小売業 卸売業より規模が小さい サービス業 中小企業の法人税率が低い 中小企業の従業員は中途転職が多い
207	A大学	商	3	1	賃金が安い 利益が少ない 地域密着 専門的な商品 景気の影響を受けやすい	217	A大学	商	3	2	経営規模が大きくない 資本金が大企業と比べると少ない 従業員が多くない 経営者と所有者は同じ人 大企業のように細かく分業していない

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
218	A大学	商	3	2	東大阪 下請 工場 高い技術力 資金が少ない	228	A大学	商	3	1	大企業よりは全然もうからない 民間企業 海外進出がない 社員が少ない 信頼関係が良い
219	A大学	商	3	2	町の小さな工場 大企業の下請 小規模ながら、優れた技術を保有する 会社 伝統産業の職人さん、西陣織関係 八百屋さんや魚屋さん	229	A大学	商	3	2	ものづくり 大企業の下請 工場 就活 トヨタ自動車の下請の中小企業 身近な存在 興味がある
220	A大学	商	3	1	部品を作ってる 地域密着 不景気で真っ先に切られる ネジ 八尾	230	A大学	商	3	1	アットホームな職場である 下請 大きくない企業 少数精鋭で仕事をしている 会社の社会的立場が厳しい
221	A大学	商	3	1	従業員が少ない 日本を支えている企業 企業努力がすごい 社員同士の団結がある 一つのことには秀でている	231	A大学	商	3	1	東大阪 人工衛星 技術力 アットホーム ワンマン社長(経営)
222	A大学	商	3	1	社員数があまり多くない 大企業の下請を担っている 経営者との距離が近い 会社の成長を身近に感じることができる 勢いのあれば大手以上に成長できる可能性 がある	232	A大学	商	2	1	東大阪 シェア率高い 転職が多い 製造業などの従業員の少なさ 海外進出をしない
223	A大学	商	3	1	しょぼい 給料がそんなに良くない 能力のある人は大企業に引き抜かれる スケールの小さいことしかできない 休みが不定期	233	A大学	商	2	1	給料が低い 社員の仲が良い 暇なときは暇 大企業に比べ倒産の恐れあり クーラーなどの節約
224	A大学	商	3	1	大きい会社の下にある 子会社 経営者と距離が近い 裏で仕事している そんなに有名ではない会社が中小企業 給料が安い	234	A大学	商	2	1	細かな作業を行うところ 作った製品を大企業に提供する 比較的少人数で成り立つ 自営業が多い 給料が少ない
225	A大学	商	3	1	特別な技術・ノウハウ等の武器 社員数は少なめ 企業によって経営状態が大きく異なる 製品そのものではなく、その部品を主 に扱っている 大企業と取引する場合、立場が弱い	235	A大学	商	2	2	下請 倒産 リストラ あって当たり前だが、ないと困る重要 性 小さい
226	A大学	商	3	1	日本全体の企業の9割強 下請が多い ベンチャー企業が多い 工業系が多い 大企業と提携している	236	A大学	商	2	2	中小企業は、大企業、日本の支え 社員が少人数で、社員同士また社員と 社長の仲が深い 社員が行っている仕事を理解している 東大阪の小さな工場で、宇宙ロケット の部品を作っている 革命や革新が難しい(安定している)
227	A大学	商	3	1	規模が小さい 社員の対する気配りが大企業よりある まとまりがある プロジェクトの関われる まだまだ成長する平和がある こじんまりやってる 社員は与えられた仕事ではなく、目的 のために仕事をしている	237	A大学	商	2	1	父、祖父の会社 日本の根幹 下町 30年で99%つぶれる 特殊な技術を持っている



整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
238	A大学	商	2	2	大企業よりも小さい 資本金の多さが違う 社員の規模が違う（大企業>中小企業） 中小企業と大企業と比べると大企業の方が安定で高収入 日本のほとんどが中小企業	248	A大学	法	4	2	東大阪付近の工場 中小企業にしかできない技術もある 国が現在支援をしている 大企業に比べて知名度が低い 中小企業の定義が曖昧
239	A大学	商	2	1	高い技術力を持っている 大企業を支えている 大企業より経営がしっかりしている 数人で行動していて、仕事が早い 働く時間が長い	249	A大学	法	3	1	日本の技術の貯蓄 無名だがすごく大事 大企業によって運命が左右される 銀行に苦しめられている
240	A大学	商	2	2	新しいものを生み出す ベンチャー企業 IT系 下町にある小さい会社 経営者が身近	250	A大学	法	3	1	下請 町工場 ベンチャー ニッチ産業 地方
241	A大学	商	2	1	経営が厳しい 下請なので立場が弱い 企業によっては大企業よりも勢いづいている（ベンチャー） 年取が低い 「中小」に当てはまる企業の規模が広い	251	A大学	法	3	2	大企業の下請会社 大企業の下請会社であったり規模が小さいために弱者扱いされる 経営が苦しい中小企業が多い 大企業を支える企業で大企業がいて成り立つ 大企業が使う部品を作っている 地元密着型の中小企業が多い
242	A大学	商	2	1	社員同士のつながりが深い 大企業と比べて給料が低い 大企業と比べて倒産しやすい 労働時間が長い 社長がユニーク	252	A大学	社会	6	2	ネジ、ばね、ゴムなど何かを作る部品の会社 ブラック企業といわれるほど過重労働 給料が安い 人が少ない 地方都市に多い 工場が多め 悪いイメージ
243	A大学	文	4	2	未上場 町工場 経営が大変 金属部品、パーツなどを作っている 東大阪 下請 知名度の低さ 従業員が少ない	253	A大学	社会	4	2	自営 規模が小さい そんなに儲かっていない 世間ではあまり知られていない会社名 地域に根付いた事業
244	A大学	法	4	1	下請会社 子会社 作業着 作業員同士の顔がわかる、距離が近い 社会的影響力が小さい	254	A大学	社会	4	1	零細企業 低賃金 ブラック ベンチャー 大阪下町
245	A大学	法	4	2	機会の部品を作る会社 東大阪 都心から離れており、少人数体制 大企業にとってはなくてはならない存在 地域密着型 上場していない 規模の小さい会社	255	A大学	社会	3	1	給料が低い 会社の規模が小さい 全国展開していない 社員数が少ない 入社すれば、いろいろな仕事をやらせてもらえる 福利厚生制度が整っていない
246	A大学	法	4	2	人数規模が小さい 知名度が低い 地方に拠点 給料が大企業より低い 国内での活動	256	A大学	経済	5	1	職場は男だらけ 背広より作業着 根性がある ドラマがある、夢がある、希望がある 昼休みに喫煙所に群がる
247	A大学	法	4	1	労働時間が長い 赤字企業が多い 上司に嫌われると終わり 大手よりも地域密着 大手よりも給料が低い	257	A大学	経済	4	2	工場 小さい社長室 作業服 働いている人が若い 忙しい 休みがない

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
258	A大学	経済	4	1	地方にある 同族企業 社屋が古い 一つの事業に特化 人が優しい	268	B大学		4	1	家とまとまっている 経済力が低い 新しいことをしている 技術力が高い 小さいもの私たちに見えないものを作 っている
259	A大学	経済	3	1	従業員が少ない 給料が安い 新入社員でも重要な仕事を任せられる ことが大企業よりも多い 大企業はそのほとんどがトップダウン 方式で上役からの指令が絶対となる が、中小企業では若手社員でも地震の アイデアや仕事をより発揮できる技術 力を持つる会社が多くある	269	B大学		4	2	大企業と違っていつ潰れるかわからない 男の人、年配が多い 会社によっては、社員の声をしっかりと 聞き入れてくれる 知られていない会社が多い 転勤がない
260	B大学		4	1	いっぱいある 技術がすごい つぶれる可能性が高い 給料が良かったりする 大企業の下請	270	B大学		4	1	日本の8割くらいの企業数 株式会社 シャープ 小さい会社 マニュアルに縛られにくい
261	B大学		4	1	たくさんある 給料が低い ブラック企業が多い 倒産しやすい 技術がある	271	B大学		3	1	幅広い職種がある 日本のビジネスの大半は中小企業 規模など様々な会社がある 小売業 従業員が多い会社と少ない会社とがあ る
262	B大学		4	1	大量にある 大企業の下請会社 小さいが技術力がある あまり知られていない 潰れやすい	272	B大学		3	1	大企業より小さい 資金などが少ない 小売業 規模が小さい 従業員が少ない
263	B大学		4	1	従業員が300人以下 資金額3億円以下 程よい安定がある 少しレベルが高い 生産・販売を行う	273	B大学		3	1	数が多い 少数の人数 職種が幅広い 専門職が多い 経営者と社員の距離が近い
264	B大学		2	1	国内の基盤 数多くある	274	B大学		3	1	バツとしない 汗くさい 工場で働いている 下請 給料が悪い
265	B大学		7	1	町工場 大企業の下請 あまり名前を聞かない 営業でサラリーマンが日中歩き回って いる 家電などの中の小さい機会を作ってい る	275	B大学		3	1	大企業に比べたら小さい あまり企業の名前が出てこない ブラック企業が多い 従業員が少ない 数がたくさんある
266	B大学		4	1	小規模 数が多い 多種多様の分野 就職しやすい 安定しない 影響力が弱い 給料が安い 責任が軽い	276	B大学		3	1	あまり大きくない企業 数は多いが全然知られていない 大企業に比べて就職しやすい 年配が多い 地域の人たちと仲が良い
267	B大学		4	1	目立たない 従業員が少ない 人づきあいが良い 田舎 働きやすさ	277	B大学		3	1	中小企業が1つ潰れたりしても、自分 たちの私生活にはあまり影響はない 収益は多くない 地域と一緒に活動している、地域活性 化 ライバル企業が多い 団結力がすごい
						278	B大学		3	2	家族企業 地域活性化 中小企業に入ると成長しやすい 仕事の分類がはっきりしない 経済に左右され、不安定

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
279	B大学		3	2	国の経済を支えている 地域の関係が深い 日本で98%以上は中小企業 いろいろな分野にかかわっている 大手企業と違って、各自の能力が成長しやすい	288	B大学		3	1	社員数が多くない 将来、どうなっているかわからない 数が多い 新卒を採用し、丁寧に育ててくれる 何かに特化している
280	B大学		3	1	お金がない会社 社員が少ない 卸売業 法人税が少ない 工場にいる人が少ない	289	B大学		3	1	少人数で行う経営活動 大企業と比べて売り上げが低い 経営方針が立てやすい 倒産の影響が少ない 若い人が多い
281	B大学		3	1	少人数で仕事を回している 1人1人の存在が重要となり、1人でも抜けると大きな痛手となる 地域密着型の中小企業もある 大企業では困難なニッチなニーズに応えることが可能 社員数が少ないため、比較的、統率が取りやすい 理念などの当初の目的を見失うことなく安定した熱を持って活躍できる 社員の能力に偏りがあると、時代に合わせた柔軟な対応が困難となり、経営が不安定になる	290	B大学		3	1	日本で一番多い企業 規模が小さい 倒産しやすい 利益が安定していない 日本を支えている 工場が多い
282	B大学		3	2	地域と密接に関わっている 社長が社員全員の顔を知っている 社員が直接社長に意見を言える 社員を大切にしている 社員が成長しやすい環境	291	B大学		3	1	工場などの会社が多い お金が全然稼げない 中高年の人が多く働いている 若い時から責任ある仕事を任せてもらえる 将来どうなるのか不安 安定しない
283	B大学		3	1	全てにおいて規模が小さい 下請 給料が低い 小さいため、一つ一つの関わりが深い 1つの物に使う費用が少ない	292	B大学		3	1	大企業の踏み台 数いる大学生のスタート地点 従業員が少数 大部分ではなく、部品を補う企業 大企業に比べ小回りが利く
284	B大学		3	2	規模が小さい 儲かっていない 潰れそう 経営が安定していない 給料が安定していない	293	B大学		3	1	中小企業は工場が多い 中小企業は機械の部品を中心に作っている 中小企業で働いている人数は多くても80人くらい 中小企業は中小企業同士で助け合って会社を支えている
285	B大学		3	1	給料が低い、安い 社名など、ブランド力がない 地域一体 社会貢献に積極的である 大企業よりブラック企業を聞かない 大卒者が選択しない	294	B大学		3	1	日本に多く存在する 大企業と違い、人数が少ない 人数が少ない分、責任が大きくなる 大企業と違い、みんなと仲良くなれる 工場が多い
286	B大学		3	1	大手の下請 給料が安い 従業員同士の仲が良い 立場が弱い 従業員への保証がしっかりしていない	295	B大学		3	1	小さい工場 目立たない 大企業に大きく関わりがあり、引き立て役 日本には欠かせない企業 柄が悪そうな人が働いている 下請 闇金などから、常に借金している
287	B大学		3	1	大企業より、社員を家族のように大事にしている 大企業にできないことをしている 差別化 若い時から責任のある仕事を任せられる 売り上げや従業員数は大企業に劣る 経営者と近い距離で働ける	296	B大学		3	1	工場が多い 専門的な部品や精密機械の部品 従業員数が少ない 資本金 大企業より多い
						297	B大学		3	1	全ての割合の8割くらいが中小企業 地域とのつながりを大切にする 従業員が少ない あまり名前が知られていない 競争が激しい

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
298	B大学		3	1	大企業に比べて社員数が少ない 数が多い 何かに特化している 将来性が分からない 大企業より給料が安い 決まった休みがない	308	B大学		2	2	大企業はすでに実績をあげているのに対し、中小企業は成長率が高いわりに実績をまだ出せていないところが多い
299	B大学		3	2	従業員が少ない 取り扱っている金額の桁が小さい 倒産しても大企業よりは被害が少ない 株主が少ない 特にこれといって思い浮かぶ企業は少ないが、大企業と比べて数がとても多い	309	B大学		2	1	経営資金が大企業よりも少ない 組織規模も小さい 大企業より割合が多い 個人経営がある 地域住民と積極的に関わる
300	B大学		3	2	雇用人数が1000人以下 会社名が思い浮かばない 事業拡大をしていない 利益が安定していない 大企業より数が多い	310	B大学		2	1	裏から日本の経済を支えている 数が多い 有能な中小企業は下手したら大手よりも優れている 大手ほどの実績がない 中小企業同士の団結が強い
301	B大学		3	1	社長との距離が近い 他企業との提携が多い 一人一人に多くの業務内容がある 社長自ら営業を行う ブラックな企業が多い 福利厚生が弱い	311	B大学		2	1	地方に多い 陰で支える、大企業に必要な会社 大企業のパイプとなる会社 名前が多くの人に知られていない 会社が小さい
302	B大学		3	1	大企業よりも給料が安い 大企業よりも社員のことを考えてくれる 地域のことに力を入れている 国公立などのエリートがいない 昔は大企業のイメージがすごくよかったが、今はトータルすると、中小企業の方がイメージが良い	312	B大学		2	2	従業員が少ない 地域の人に密着している 従業員同士の仲が良い 新入社員も仕事を任せてもらえる 中小企業で思い浮かぶ企業がない
303	B大学		3	2	いっぱいある 従業員が少ない こじんまりしている 従業員が少ないため、個人の意見を尊重してもらえる 将来が不安 不安定	313	B大学		2	1	町のことを考えて経営している 人数、お金の面で規模が小さい 大企業よりも数が多い 地方 経済のカギを握っている
304	B大学		2	2	労働者数が少ない 大企業と比べると資金が少ない 土地や会社が小さい 大企業と比べると認知度が低い 利益が少ない	314	B大学		2	2	社内の雰囲気がいい 人数が少ない 社員同士、話をする機会が多い 仕事が多く回ってくる 人が少ないため、やりたい仕事ができる 指示する人が少ないため、小回りが利く 日本で1番多い 地域の活性化 人が少ないため、教育がいきなり成長しやすい 倒産しやすく、吸収されやすい 資金が少ないため、分野が狭い
305	B大学		2	1	小さい 工場 名前が売れていない 少人数	315	B大学		2	2	働く人の数が少ない 社内の雰囲気が良い 若い人が活躍できる 働きがいがある 大手より給料が低い
306	B大学		2	1	会社名が思い浮かばない 大企業より就職しやすい お金もそこそこもらえるが、大企業より少ない いつ潰れるかわからない ピンとこない	316	B大学		2	1	ブラック企業 いろいろな年代の人が働いている 日本を支えている 地域とのつながりが強い 会社内の団結力が強い
307	B大学		2	1	大企業の下請 地元の人すら知らないような小さい会社 社会になくてはならない 経営が火の車 社員が全員分かる人数程度しかない	317	B大学		2	2	小さな企業 大企業のように有名ではない 資本の額が少ない 小規模 従業員が少ない 大企業と違い、数が多い 個人的な経営

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
318	B 大学		2	2	陰で社会を支えている ビルの1フロア すぐ潰れそう 地域を支えている 可能性がある 社内がアットホームな雰囲気 パツとしない	328	B 大学		2	1	従業員が少ない 工業系が多い 休日が少ない 活躍すればすぐに役職に就ける 会社が小さい
319	B 大学		2	2	大企業に比べてつぶされてしまう可能性が高い 大企業に比べて給料が安い 大企業に比べて入りやすい 種類が豊富である 経営者と近い距離で仕事ができる	329	B 大学		2	1	給料が安い 残業が多い 他にはない商品、技術がある 会社が小さい ブラック企業が多い
320	B 大学		2	2	大企業には劣っている 陰で頑張っている 中小企業の会社が多い 大企業に比べて堅苦しくない すぐ潰れそう 縦物が古い	330	B 大学		2	1	地域と密着している 企業名があまり知られていない 大企業ではできないことができる 規模が小さい 倒産の可能性が高い
321	B 大学		2	1	会社の持つ資本金が1億円以下の企業 直接消費者と関わるのではなく、企業 と取引をする中小企業が多い 製造業が多い 地域との関わりを強く持つ 大企業よりも経済を支えている 毎年多くの中小企業が現れ、消えている 大企業と比べて世間からないがしろに されている部分がある	331	B 大学		2	2	ほとんどの企業が中小企業 大企業は大手、有名企業ばかりだが、 中小企業はそれ以外 大企業より従業員等が少ない 安定しているのか 大企業に比べて経営者との距離が近い 大手より大きく成長できる可能性がある 大手より資本が少ない
322	B 大学		2	1	どこにでもある名前を知らない会社 規模が大きくない 大企業の下請をしている 工業株式会社や産業株式会社が多い 作るものが1つまたはそれに派生する もののみで、種類が少ない 分野に特化している ホワイト	332	B 大学		2	2	忙しい ブラック企業が多い 経営者と近い距離で仕事ができる 一人一人の負担が大きい 働きやすく、自分の意見を仕事に使える
323	B 大学		2	2	大企業より小さい会社 普通の企業 給料が多くはない 誰でも入れる すぐ倒産するかもしれない	333	B 大学		2	1	中小企業とは全国もしくはエリアごと にたくさん存在している 親会社が存在し、その親会社に支持さ れている 大企業と違って正社員にプラスしてバ イトなどの人を雇っている 数多くの中小企業の中には、ブラック 企業といわれるものも存在している 他店舗と似ている職場が多いため、競 争が激しい
324	B 大学		2	1	大企業を支えている 技術的な分野が多い 会社の社員数が100人以下 地域密着 あまり世界へは進出しない	334	B 大学		2	2	中小企業はつぶれやすい 採用に関する情報が少ない 大手企業を支えている 海外との関わりがあまりない 人数が少ない
325	B 大学		2	1	資本金が少ない 少数の従業員からなっている 大企業より給料が少ない 地域に貢献している 就職しやすい ブラック企業が多い	335	B 大学		2	2	地域密着型 新社会人が多い 社会的に安定している 社員数が少ない 会社自体が大きくない
326	B 大学		2	1	大企業が安定し資本金が多いのに対し、中小企業は不安定で資本金が少ない	336	B 大学		2	1	社員が少ない 安定していない 会社の数が多い 有名でない 町工場
327	B 大学		2	1	給料が少ない 会社が小さい 働いている人が少ない 就職しやすい 経営者と近い距離で仕事ができる	337	B 大学		2	1	売り上げが少ない 目立たない 社員が少ない 全国ではなく、その地域だけにある 破綻しやすい

整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ	整理番号	大学	学部	学年	性別 男1 女2	中小企業のイメージ
338	B 大学		2	1	大企業より小さい企業 大企業に部品を売っている あまり儲かっていない 働いている人が少ない 企業数が少ない 残業することが多い	349	B 大学		2	1	大企業と比べて潰れる率が高い 給料が少ない 優れた技術者の人もいる 労働時間が大企業に比べて長い 休日が大企業に比べて少ない
339	B 大学		2	1	大企業より小さい 働いている人が少ない 給料が少ない 大企業より数が多い 残業している						
340	B 大学		2	1	大企業よりは小さい 下請の会社 資本金が少ない 大企業より従業員が少ない 経営規模が小さい						
341	B 大学		2	1	資金が少ない 地域との関係が深い 就職しやすい 社員同士の仲が良い 数が多い 有名な会社が少ない						
342	B 大学		2	1	大阪に多い 機械の部品を作っているところが多い あまり給料が高くない 大企業より数が多い 社員があまり多くない						
343	B 大学		2	1	大手の企業より規模が小さい 地域とのかかわりが深い 地域の住民との関係を重視している 労働賃金が大手企業より低い 他企業とのかかわりが密接、協力						
344	B 大学		2	2	大企業より入りやすい 自社だけでなく、地域活動への貢献 給料が少ない 安定しているとは限らない 専門的な企業がほとんど						
345	B 大学		2	2	長期休みや育休を受けにくい 地域に根付いた活動 ボランティアなど、地域への貢献 中小企業間の連携が盛ん 専門的 特化的 大企業の下請						
346	B 大学		2	2	大企業以外のすべての企業 チェーン店ではない 社員が少ない 給料が並～並以下 数が多い						
347	B 大学		2	1	小さい 中くらい 町工場 儲かっていない 給料が安い						
348	B 大学		2	1	小さい 町工場 ネジなどの部品を作っている 雇用人数が少ない あまり名前を聞いたことがない 安月給						